

広報

ひがししらかわ



○新しいプールを楽しんだ園児たち（関連5ページ）

村長室から

○子どもたち待望の夏休みは二十日から

いよいよ夏本番となります。熱中症にご注意ください。また、子どもたちは楽しみな夏休みが始まります。保護者の皆さんには宿題や水の事故など心配な時期でもあります。こんな時こそ大人が良い手本を示し、地域全体で見守りたいものです。二十二日には村内三ヶ所でラジオ体操会が行われますのでご参加下さい。

○惜しくも入賞を逃す

六月二十三日に川辺町で開催された第五十七回加茂郡消防操法大会に、本村を代表して第四部自動車班が出場しました。日頃の訓練成果を十分発揮した操法を披露しましたが、実力が均衡する中、紙一重の差で入賞を逃したと感じます。大会までの長い訓練期間、団員が一致団結し取り組みました。

出場隊はもとより全団員、ご家族、消防署の方々など多くの皆さんが関わって村の安心安全に尽力頂いた事に感謝します。日頃の訓練が有事の際の大きな力になります。

○七月の行事など

五日に恒例の少年の主張大会を開催しました。小学五年生から中学三年生の代表六人が日頃感じている事や意見を堂々と発表してくれました。詳しい内容はCATVや来月の広報誌で紹介しますのでご覧ください。



the most beautiful
villages
in japan

7
2013

東白川小学校の取り組み

「生きる力」と「ふるさとを愛する心」を育て

「せいいつばい きたえ のびよう 東っ子」が教育目標の東白川小学校。今年六月には高学年児童の「生きる力」と「ふるさとを愛する心」を育む学習や行事が行なわれ、中には新しい試みもありました。本号では、この小学校の取り組みとねらいを紹介します。

生きる力

村が掲げる学校教育の方針では、次のように定義しています。

① **確かな学力**：自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。

② **豊かな心**：自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いや

る心や感動する心など、豊かな人間性。

③ **健やかな体**：たくましく生きるための健康や体力や気力。

六月の学校行事の中で、これら「生きる力」を育むための取り組みが見られました。

○六年生・修学旅行

昨年までは、一日目に奈良で見学を終えて京都まで向かう際には、全体でのバス移動でした。今年の旅行では、児童は六つの班毎に、奈良から京都まで自分たちだけで電車移動を行いました。児童は旅行前に、各班でそれぞれ班別行動の内容を計画。電車の運行に合わせて、時間通りに集合場所の京都タワーに到着できるように、見学する場所や時間の割り振りを決定しました。

当日は自ら決めた予定を守り、全ての班が余裕を持って集合完了できました。

ねらい：この初めての試みには、期限を意識して予定をたてる計画



カレー作りの様子

性、それを守って行動するための自己管理能力、そして自分の役割と責任を意識する集団行動の力を育むねらいがありました。児童たちがこれらを高めることが出来た事は、旅行の全日程を滞りなく終えられた結果に表れています。

○五年生・ふるさと体験合宿

これまでのふるさと体験合宿は一日目に産業体験、二日目に自然体験を行なうことが恒例となっていました。今年は自然体験を充実させるため、産業体験とは別々で実施する事になりました。

合宿の内容は、一日目はネイチャーゲームや夕食の準備で野外炊飯と薪割り体験にキャンドルファイヤー、二日目はパン作り

野外散策、陶芸体験と盛りだくさんでした。特に一日目の夕食は親子会も兼ねており、それぞれの班で計画したオリジナルのカレーとサラダを保護者にふるまいました。

レシピは事前に家庭科の授業で計画し、好みに合わせて豚や鶏など肉の種類を変えたり、ニンジンが苦手な子のために他の野菜を選ぶなどして、独自のレシピを考案しました。

当日は薪や食材などもしつかりと準備。買い出しでは班毎の予算三千円で十五〜二十人分を作れるように買い物をしました。

調理を終えて出来上がったカレーは、どの班も美味しく出来上がりました。

ねらい：今回の行事では、計画性や自己管理能力、集団行動の力を育むねらいのほか、小学校が研究指定を受けている「金銭教育」にも関わりが持たれていました。

村の子どもの大半は、中学卒業後に親元を離れて生活します。小学校では、早い時期に自立する力が必要となる子どもたちのため、正しいお金の価値・モノの価値を知ってもらう取り組みも進められています。



電車で集合場所へ

ふるさとを愛する心

小学校の総合学習では、三年生はお茶作り、五年生は産業についての学習など、ふるさと東白川村に対する愛着を深めるため村の自然や産業、伝統文化に触れる機会が与えられています。

六月の行事の中には、これらに加えて新しい試みがありました。

○五年生・鮎の友釣り体験

ふるさと体験学習では、村の伝統的な楽しみである「鮎の友釣り」体験が予定されました。合宿当日が雨天だったため、友釣り体験は後日に改めて行ないました。体験では飛騨川漁業協同組合員から、鮎の習性や友釣りの仕組み



鮎を味わう児童

を教わったり、八つの班にそれぞれ付き添ってもらいアドバイスを受けました。

竿やタモを交代しながら釣り続けること約一時間、全体で七匹を釣ることができました。続けて二匹釣れた班もあれば釣れなかった班もあり、反応は様々でした。

友釣り体験を終えた後は釣った鮎と養殖のものを塩焼きで美味しく食べました。

ねらい：今回の参加児童二十三人のうち、四人を除いて友釣り初体験となりました。この日をきっかけに、釣れた喜びを知った子や今日のリベンジをしたい子など、友釣りに興味を持つ子が増える事が期待されています。

○四年生・母樹林見学

毎年四年生は、総合学習での「カワゲラウォッチング」や三重県城東小学校との交流などを通じて「山」「川」「海」のつながりを調べ、三学期の「かがやき発表会」で成果を披露しています。

これまで「山」については、インターネット等を活用したり学校の裏山の木を調査して学習してきましたが、今年は母樹林を見学することとなりました。見学では講師の栗本重秋さん（柏本）から、雨水を蓄え川へと流す森の働きを始め、人工林を作る目的、また母

■校長先生に聞きました

○行事を終えて

どの行事も子どもたちが心から楽しみ、またやりたいという思いを持って取り組んでいたと思います。初めての試みでは、どれも子どもたちの総合的な力を高める機会として手ごたえを感じました。

小学校の役割は、様々な体験を通してふるさとの良さを胸に刻む事、そしてふるさとの人々の思いや願い

樹林に植えられた様々な種類の木とその役割を学びました。

また村雲辰善さん（下親田）からは木が家や家具になるまでの一連の流れや、それに関わる森林業者や製材所、設計士などの職業について資料を用いて説明を受けました。

ねらい：母樹林見学の実施には、村に住むからこそ山や木を身近に体験し、詳しく知ってほしいという願いがあります。

見学では人工林に疑問を持って質問したり、種類によって様々な役割を持つ木の紹介に興味深そうに聞き入るなど、意欲的な児童の姿が見られました。

■その他

今後の新しい取り組みとして、村の主産業・林業についての学習や、フォレストスタイルなどの村の取

を伝える事だと思っています。それを果たすため、今後も子どもたちに挑戦させる取り組み、ふるさとにふれる体験を行なっていく方針です。

○どんな子どもになってほしいか
困難に遭遇したとき、その解決方法を見つけることに楽しみを感じられる子になってほしいです。

また子ども時代に一つでも多くの楽しみ方を見つけて、東白川村が心に残るふるさとであってほしいです。

り組みの学習を通じ、子どもたちが村のために何が出来るか考える学習を行なう予定です。

■子どもの心に残るふるさと

小学校ではこうした機会を与えられることで、子どもたちが村を好きになること、村の中での楽しみを見つけることを期待しています。

これらは、これからも村が残りに残っていていられる大切なつながりであると考えられています。

子どもの将来に期待

これら小学校の取り組みを通して、児童は様々な部分で成長していくと思われま。

また他地域と比べ児童数の少ない環境の中、子どもたちは様々な場面で与えられた役割をこなし、たくましい姿を見せてくれます。将来に期待が集まります。

大きくなってと願いを込めて

年長園児が稚鮎放流

六月十一日、みつば保育園の年長児十五人が平・ふるさと橋の上流で稚鮎の放流を体験しました。

園児たちは十秒ほどの鮎をバケツに分けてもらい、「大きなあれ」などと声をかけながら約百匹を放流しました。

この体験は、「川に対する親しみと思いやりを持ってほしい」と飛騨川漁業組合が呼びかけ、毎年行なわれているものです。

なお、この日は気温が上がり水の中に入りたくてウズウズしていた園児は、流れのゆるい場所で鮎を見つけると魚を追うようにドボンと川の中へ、一足早い水遊びも楽しめました。



放流後に水遊びを楽しむ園児たち



一葉づついいねいに選んで摘みます

白川茶をPR

村外家族が茶摘み体験

村茶業振興会はNPO法人青空見聞塾の運営で、白川茶のPRと消費拡大を目的に、白川茶発祥の地である大沢蟠龍寺跡ばんりゅうじの茶畑で茶摘み体験を行ないました。

参加者は一宮市や隣の白川町、加子母から応募で集まった十九人。茶葉の摘み方などの説明を受けた後、一時間ほど茶摘みを楽しんだ。

休憩時間には「白川茶おもてなし隊」からお茶の淹れ方指導を受け、新茶の初摘、くき茶、ほうじ茶を飲み比べました。参加者は「茶葉が柔らかいことを初めて知った、無農薬なので安心して飲める」などと話していました。

海外実習生に選抜

県代表十人に仲間入り

県立加茂農林高等学校三年生の田口友里江さん（柏本／父・昌克さん）が県農業高校生海外実習派遣生徒に選抜され、六月二十一日にその報告のため来訪されました。

この事業は、県教育委員会がブラジル岐阜県人会などの協力のもと、ブラジルとオランダに生徒を派遣し、七月十八日から二十二日間に農業に関する体験的な研修を行なうものです。

参加にあたり田口さんは「将来の目標は家業を引き継いで両親と一緒に切り花栽培をすること。それに向け実習で栽培技術や流通についてたくさん学びたい。」と抱負を語りました。



報告に訪れた田口さん



健闘した第4部の操法

有事に向けた訓練成果を披露

第五十七回加茂郡消防操法大会

六月二十三日、川辺町で加茂郡消防操法大会が行なわれ、本村からは第四部自動車班が出場しました。

団員は、今大会や村操法大会の前に四月二十四日からこの日まで訓練を重ねてきました。出場した七町村のうち、本村は最後の操法披露でした。惜しくも入賞は逃したものの、訓練で磨いた正確・迅速な操法技術を披露しました。

出場した指揮者の安江清さん（陰地）は、「訓練中、団員の家族や勤務先の方に協力頂きありがとうございました。今後も皆さんに頼られる消防団であるよう心がけます。」と話しました。

地域に密着した看護を学ぶ

医療大学実習生受け入れ

埼玉県の日本保健医療大学・看護学科の四年生が六月二十四日から村の保健福祉センターで実習を開始しました。

実習生は五人ずつ三グループに分かれ、二週間村に滞在します。実習では家庭や福祉施設への訪問や村民への健康教育などの事業に参加し、村の保健師の活動について実践で学んでいきます。

下親田出身で日本保健医療大学教授の宮田延子先生は「村は保健、福祉、医療の連携が取れた取り組みや、住民に親しまれる保健師の活動を学べる大変良い実習環境。生徒たちは実りのある成果を得られると思う」と話されました。



P P K教室に参加する実習生



キックベース優勝の平子ども会

活動を通じて交流しました

子ども会ふれあい大会

子ども会の恒例行事「ふれあい大会」が六月二十九日に小学校で行なわれました。

高学年は校庭でキックベース大会に参加し、八つのチームで競いました。熱戦が続いた大会結果は次の通りです。

- 優勝 平チーム
- 二位 五葉Aチーム
- 三位 大黒山チーム
- 親田チーム

また、低学年は体育館で交通安全をテーマにしたDVDの鑑賞や、豆つかみや割り箸ダーツなど記録に挑むゲーム・チャレンジランキングを楽しんでいました。

新しいプールで初泳ぎ

保育園プール開き

七月一日に保育園で、新しくなったプールのお披露目が行なわれました。以前のプールは昭和五十九年から使用しており老朽化が見られていたため今年度「ふるさと思いやり基金」を活用して更新しました。

園児たちは安全に遊べるように先生から「ふざけない」「ふちに登らない」「先生の指示に従う」などの約束事を聞きました。準備体操をし、プールに入るととても気持ちよさそうに水浴びをしていました。

村雲喜美代園長は「園児たちの体力作りのため大切に使っています。」と話しました。



新プールのお披露目



献茶祭の様子

先人への感謝と敬意を込めて

蟠龍寺献茶祭

恒例となつた献茶祭が七月二日に大沢の蟠龍寺で行なわれ、生産関係者や地元住民など約二十人が参加しました。

白川茶の起源は、約四百年前に蟠龍寺の住職が京都の宇治から茶の実を持ち帰り、里人に茶の栽培を奨めたことだと伝えられています。

献茶祭では歴代住職十二人への感謝と茶業繁栄への祈願を込め、墓前にお茶が供えられました。茶業振興会長の安江美好さん（中谷）はあいさつで「毎年献茶出来ることは素晴らしい事。今年一年が良い状況で終えられる事を願います。」と話されました。

おしらせ



村の施策に対する満足度・重要度を調査します

七月の自治会長配布にて村に在住する中学生卒業以上の方を対象に匿名アンケート用紙を配布しました。ご協力をお願いします。

○調査の目的

「東白川村第五次総合計画」の策定にあたり、村の政策に対する満足度や重要度を把握します。

調査結果は施策評価のための基礎資料として、今後の行政サービスの向上や各施策の推進に役立てます。

○個人情報の保護

アンケートは無記名で封筒に入れて提出いただくので、個人の回答内容は特定されません。

○回答期限は八月四日

家族全員分の回答済みアンケートを返信用封筒に入れ、期限までに自治会の班長さんへお渡しください。

■問い合わせ先

総務課内第五次総合計画推進事務局（内101）

後期高齢者医療制度

被保険者証を更新します

現在使用している緑色の被保険者証は、有効期限が七月末までです。

八月一日からは、七月中にお送りする新しい紫色の被保険者証をお使いください。

被保険者番号	○○○○○○○○
氏名	広城 太郎
一部負担金の割合	○割
有効期限	平成○○年○月○日
後期高齢者医療被保険者証	有効期限 平成○○年○月○日
被保険者番号	○○○○○○○○
住所	岐阜市柳津町宮東1丁目1番地
氏名	広城 太郎
性別	男
生年月日	昭和○○年○月○日
資格取得年月日	平成○○年○月○日
有効期限	平成○○年○月○日
交付年月日	平成○○年○月○日
一部負担金の割合	○割
被保険者番号	○○○○○○○○
被保険者名	岐阜県後期高齢者医療広域連合

→有効期限をご確認下さい

※古い被保険者証を処分する際は住所や氏名が見えないように裁断するなど、十分注意してください。

※この被保険者証は、村に住所を有するすべての七十五歳

以上の方と、六十五歳〜七十四歳で一定の障がいがあり、後期高齢者医療制度に加入された方に交付されています。

■問合せ先

村民課住民係（内121）

子ども・子育て会議委員を募集

村では新たな子育ての仕組みや支援計画づくりのため、子ども・子育て会議を設置します。この会議にてご提案やご意見をいただく委員を募集します。

○募集人員 二人

○応募資格 村内に在住する二十歳以上で、次の条件をすべて満たす方

- ①子どもや子育てに関する知識や経験がある
- ②村の審議会、協議会等の委員に就任していない
- ③夜間の会議に出席できる

○任期等 任期は三年間。会議は年に二〜三回、二時間程度を予定。一回につき二千円の報酬をお支払いします。会議中の託児は相談に応じます。

○応募期限 七月三十一日

■応募・お問合わせ先

教育委員会（内410）

中小企業退職金共済制度

中退共済制度の特色

- ・掛金の一部を国が助成
- ・掛金は全額非課税、手数料も無料
- ・社外積立で管理が簡単
- ・パートタイマーの方も加入可能

■お問合わせ先

（独）勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部

TEL 03・6907・1234

■お問合わせ先

産業建設課林務商工係

TEL 03・6907・1234

（内271）

森林の取得には届出が必要です

○届出対象者

個人・法人を問わず売買や相続などにより森林の土地を新たに取得した方は、面積に関わらず市町村長への事後届出が必要です。

※国土利用計画法に基づく土地売買契約の届出を提出している方は対象外。

○届出期間

土地の所有者となった日から九十日以内

■お問合わせ先

産業建設課林務商工係

（内線271）

県庁林政課森林調査担当

TEL 058・272・8470

御寄付

ありがとうございました

【東白川村】

■教育委員会

蝶の標本・収納棚

：今井房雄（大沢）

■医療・保健福祉部門

金十万円：古田俊之（柏本）

金十万円：今井秀和（柏本）

清拭布、紙袋：匿名

【社会福祉協議会】

金十万円：古田俊之（柏本）

金十万円：今井秀和（柏本）

清拭布・ハンドソープ

：島倉淑子様（下親田）

清拭布：曲坂わかば会

石けん・古切手

：大明神木材

花の苗：匿名

古切手：匿名

※敬称略

東白川森林組合月末報告 第669回共販会 (6/25)	
ひのき	13cm以下小丸太 平均単価 / 8,000 円
	14cm以上 平均単価 / 17,700 円 高値 / 97,000 円
すぎ	平均単価 / 10,500 円 高値 / 23,000 円
赤まつ	平均単価 / 4,900 円 高値 / 8,000 円
総取扱量	569 m ³
総販売高	843 万 2 千円

● 県庁砂防課 (土砂災害)
Tel 058・272・8621
● 県庁河川課 (浸水被害)
Tel 052・275・8593
■ 危険箇所マップURL↓
<http://kikenmap.gifugis.jp>

ぎふ山と川の危険箇所マップ
○六月から運用中です
県では、土砂災害や浸水被害のおそれがある箇所を同時に確認できるウェブサイトを「ぎふ山と川の危険箇所マップ」を運用中です。調べたい場所の住所や郵便番号、施設名などを入力することで簡単に調べることが出来ます。
災害から身を守るため、日ごろから身近な危険箇所を確認する手段としてぜひご利用ください。
■ 問合せ先

特別警報の発令を開始します

気象庁ではこれまで、大雨や津波、高潮などの重大な災害の起こる恐れがある場合に、警報を発表し警戒を呼び掛けていました。より甚大な災害による危険性が高まっていることをお知らせして特別な警戒を呼び掛けるため、新たに「特別警報」を発表します。対象となる現象は「伊勢湾台風」や「東日本大震災」などが該当します。特別警報が発令された場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況です。屋外の状況や避難指示などに留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。
■ 問合せ
岐阜地方気象台防災業務課
Tel 058・271・4108
※詳細は気象庁ホームページをご覧ください。

保育士就職チャレンジ研修

県保育研究協議会では、未就労の保育士有資格者を対象に、就職に向けた研修を無料で開催します。

○日時 九月五日(木) 九時半〜十二時

○場所 古井第一保育園 (美濃加茂市本郷町)

○定員 十名程度

■申込み・問合せ先 岐阜県保育研究協議会
Tel 058・273・1111

※申込期限：八月二十三日

ぎふチャンデータ放送

■じゃんけんプレゼントキャンペーン

岐阜放送では現在配信中のデータ放送「市町村くらしの情報」の認知度向上のためのキャンペーンを開始しました。
データ放送「市町村くらしの情報」内にじゃんけんゲームに挑戦し、ポイント獲得後に表示される応募キーワードを記入し、ハガキ・メールで応募することでプレゼントが当たります。
○実施期間 七月十四日〜九月二十九日

わくわく体験館イベント

■吹きガラスで作るランプ
○開催日
①九月八日(日)
②九月九日(月)

○時間 午前九時〜正午

○内容 吹きガラスの技法で、吊り下げ型ランプを作ります。

○対象

一般成人 十六名(抽選)

○参加費 六五〇〇円 (材料費・消費税込)

○会場 ささゆりクリーンパーク

○締切 八月二十五日(日)

■申込み・問合せ先 わくわく体験館
Tel 0574・65・1515

終戦当時にお預かりした通貨・証券等を返還します

名古屋税関では、終戦後に海外から引き揚げてきた方々からお預かりした通貨・証券等を返還しています。お預かりしているのは次のものです。
・上陸地の税関又は海運局に預けられたもの
・帰国前に在外公館や日本人自治会等に預けられ、その後日本に返還されたもの

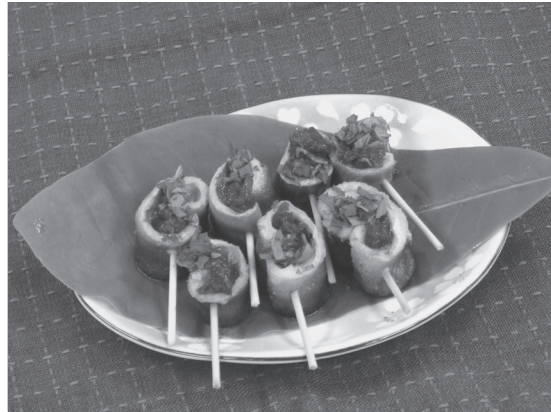
■お問い合わせ 財務省名古屋税関
Tel 052・654・4060

8月

日	曜日	加茂医師会 午前9時〜午後5時
4	日	林クリニック (美濃加茂市 / 28-8899)
11	日	木沢記念病院 (美濃加茂市 / 25-2181)
18	日	太田メディカルクリニック (美濃加茂市 / 28-2220)
25	日	木沢記念病院 (美濃加茂市 / 25-2181)

下呂市立休日診療所	
■診療日時	毎週日曜日・祝日 午前9時〜午後3時
■所在地	下呂市森 801-10 下呂市民会館1階 Tel 0576-24-1200 ※原則として 内科・小児科の急病患者

近隣の休日診療情報



アユの一口巻き

アユを使った
ちよつとおしゃれな料理です

■材料（4人分）

- ・アユ：四匹
- ・塩こしょう：少々
- ・梅干し（大）：二個
- ・青シソ：二枚
- ・サラダ油：適量

■作り方

- ①アユは頭を落とし、はらわたを丁寧にとり、三枚におろす。
 - ②おろした身は骨を取り除いて、塩こしょうを軽く振る。
 - ③梅干しは種を取り、つぶしておく。
 - ④青シソはみじん切りにする。
 - ⑤アユを両端から巻き、つまようじで留める。
 - ⑥フライパンに油をひき、②を丁寧焼く。
 - ⑦焼きあがったら、梅肉と青シソをのせて出来上がり。
- ポイント
- ・骨がないので、子どもにも食べやすいでしょう。
 - ・上にのせるものは、お好みに合わせて工夫してください。

平成二十二年六月二十二日放送 レシピ提供：安江和代さん（中通）

短歌



柔らかく白き手など見なかったと
今思わゆる母の生涯

今井米子

竿伝う鮎の当りのコツツンが

痺れし右手に今も残れる

今井光彦

猛暑の中草取り終えて入る家に

裏山からの風はクーラー

荻田良香

右ききの野良猫が居て朝夕に

ガラス戸たたき餌を待ちおり

小林道子

一里ほど山坂歩き稼ぎしは

十九弋なりき五十年は経ぬ

田口かずみ

（平成二十四年発行 木の実会短編集【第五集から】）

人口の動き

世帯数	… 869世帯
人口	… 2,592人
	（男1,243人 女1,349人）
入出生	… 1人
転出	… 8人
転入	… 0人
死亡	… 3人

先月との比較 10人減
昨年との比較 73人減

6月末住民登録人口から

ご結婚おめでとーございます
栗本和志(平)・鈴木幸江(可児市)

お悔やみ申し上げます

古田サカへ 百三歳(柏本)

今井怜 七十四歳(柏本)

※敬称略



最近、「子どもの

課金トラブル」の話題をよく目にするようになりました。

スマートフォンなどで利用できる「基本無料」のゲームの多くには、内容をより楽しめたり、他人より有利になれる「有料の追加要素」が含まれています。また、その支払いには事前の手続きや設定次第で簡単に行なえるため、購入額が数十万円にのぼってしまったケースもあるようです。

お金の使い途に対する保護者の理解、子どもたちの正しい金銭感覚の習得がこれまで以上に必要になると感じました。(H)